《ご報告》

この度、12 月 4 日(金)開催のロームシアター京都 10 周年×京都市交響楽団 70 周年共同プロジェクト Project B『ブリテン：春の交響曲』公演を降板させていただくこととなりました。

この作品に取り組む機会をいただき、主催者様をはじめ、公演関係者の皆様には心より感謝申し上げます。
以前より持病である喘息と向き合いながら活動を続けてまいりましたが、現在、症状の改善が思うように進まず、熟慮の末、今回の出演を断念するに至りました。

《春の交響曲》は、難解で演奏機会も限られる作品です。
だからこそ、自分自身への挑戦としてぜひ挑みたいと考え、準備を重ねてまいりました。
出演を楽しみにしてくださっていた皆様には、大変申し訳なく思っております。
また、代役を務めてくださる小堀勇介さんをはじめ、出演に向けて調整にご尽力いただいた関係者の皆様には、改めて深く感謝申し上げます。

一方、全国共同制作オペラ《イル・トロヴァトーレ》につきましては、東京・新潟公演に少しでも良い状態で舞台に立てるよう、現在の体調と向き合いながら回復に努めております。本プロダクションは、私を軸に構想していただいたものであり、その期待と責任を感じております。私自身、残りの公演に出演したいという思いは強くあり、今後の出演につきましては、引き続き体調の回復状況を見ながら、慎重に判断してまいります。

作品によって求められるものは異なりますが、どの舞台にも誠実に向き合いたいという思いに変わりはございません。。今回の降板も、作品や公演に対する思いの違いによるものではなく、現在の自分の状態と、公演に関わる皆様への影響を考えたうえでの決断です。

いつも温かく応援してくださる皆様、そして私を支えてくださるすべての皆様に、重ねて心より感謝申し上げます。
今は自分の身体と真摯に向き合い、また皆様に心から喜んでいただける歌をお届けできるよう、努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2026 年 11 月 10 日
笛田博昭